

サイエンス・パートナーシップ・プログラムに基づく模擬講義および体験実験の概要

日 時 9月7日(土)
午前9時～午後3時頃まで

場 所 熊本大学工学部物質生命化学科

参加者 大津高校生徒約35名
同引率教諭3名

模擬講義および体験実験の概要

09:30 物質生命化学科ピロティに集合

09:40 ガイダンス(2階会議室)

学科長挨拶(後藤教授)

学科の簡単な紹介, 講師紹介

注意事項など(伊原)

10:00 施設見学

物質生命化学科棟の1階, 2階を主に見学

サテライト・ベンチャービジネス・ラボ見学など(伊原, 櫻井)

11:00 模擬講義(2階会議室)

講師 谷口 功 教授

題目「物質 = 未来を開く多様性と可能性：導電性や表面・界面の 不思議から」

ガラスはなぜ電気が流れないのか、金属と半導体の区別、色など、導電性から見た物質の性質や物質の端としての表面・界面が持つ新しい化学、ナノサイエンス・テクノロジーのおもしろさについて考える。

12:00 - 13:00

ランチ休憩(203教室を開放)

13:00 模擬実験(2時間程度)

1) 生物電気化学コース(担当: 谷口教授)

2) 超臨界流体コース(担当: 後藤教授)

3) 高機能高分子材料コース(担当: 國武助教授)

4) 精密分析科学コース(担当: 伊原教授)

15:00 修了式(203教室)